

第3会場 熊本城ホール 3F「会議室 A3」

シンポジウム 3

9:20~11:00 消化管癌に対するロボット手術の最前線（ビデオ）

司 会 掛地 吉弘（神戸大学大学院医学研究科外科学講座食道胃腸外科学分野）
竹内 裕也（浜松医科大学外科学第二講座）

- S3-1 短・長期治療成績から見たロボット支援食道切除術の有用性と今後の課題
浜松医科大学外科学第二講座 菊池 寛利
- S3-2 食道癌に対するロボット支援縦隔鏡下食道切除のこれまでの歩みとエビデンス
東京大学医学部附属病院 八木 浩一
- S3-3 食道・胃領域におけるロボット手術の有用性とその効果
金沢大学医薬保健研究域医学系消化管外科学/乳腺外科学 稲木 紀幸
- S3-4 当院における胃癌に対するロボット支援下胃切除術の治療成績：腹腔鏡手術との比較検討
神戸大学大学院医学研究科外科学講座食道胃腸外科学分野 裏川 直樹
- S3-5 例外なく全ての胃癌を対象としたロボット胃切除術の短期成績
獨協医科大学埼玉医療センター 三ツ井崇司
- S3-6 病院経営を意識したロボット支援下幽門側胃切除の手術成績の検討
松山赤十字病院外科 信藤 由成
- S3-7 定型化の先を目指して、大腸癌ロボット支援手術における DaVinciXi を用いた Dual-port Surgery の工夫
東京医科大学消化器・小児外科学分野 笠原 健大
- S3-8 大腸癌に対する hinotori ロボット支援手術の現状と治療成績
藤田医科大学病院総合消化器外科 廣 純一郎
- S3-9 新規ロボットの特性を知り使いこなす
京都大学消化管外科 板谷 喜朗

一般演題 11

11:10~11:55 炎症性腸疾患 1

司 会 櫻庭 裕丈（弘前大学大学院医学研究科消化器血液免疫内科学講座）
鶴岡ななえ（佐賀大学医学部内科学講座消化器内科）

- O11-1 潰瘍性大腸炎患者数推移と治療薬使用動向に関する全国調査
水戸済生会総合病院外科、筑波大学消化器外科 丸山 常彦
- O11-2 潰瘍性大腸炎患者における 48 週までの皮下グセルクマブ導入療法および維持療法の有効性と安全性：ASTRO 試験（アンコール演題）
杏林大学医学部消化器内科学 久松 理一
- O11-3 活動性潰瘍性大腸炎に対するリサンキズマブ+intensive GMA 併用導入療法
蒲郡市民病院 谷田 諭史

- O11-4 潰瘍性大腸炎治療における advanced therapy の de-escalation
生駒さくら診療所、健生会土庫病院奈良大腸肛門病センター 増田 勉
- O11-5 中等症以上の潰瘍性大腸炎（UC）における病態生理を考慮した顆粒球除去療法（GMA）併用抗 IL-23 抗体製剤の治療戦略
国立病院機構静岡医療センター 大西 佳文
- O11-6 入院潰瘍性大腸炎患者に対する GMA（granulocyte and monocyte apheresis）治療の検討
浜松医科大学内科学第一講座 浅井 雄介
- O11-7 重症潰瘍性大腸炎に対するステロイド大量静注療法の治療効果判定にコリンエステラーゼは有用か
信州大学附属病院 土屋 智章
- O11-8 潰瘍性大腸炎症例における、尿中 PGE-MUM 値と臨床的・内視鏡的・組織学的活動性の検討
国立金沢医療センター消化器内科 加賀谷尚史
- O11-9 難治性潰瘍性大腸炎に対する抗 TNF- α 抗体無効時の 2nd line 選択の検討
埼玉医科大学消化管内科、埼玉医科大学総合診療内科 松本 悠

日本食道学会・日本消化管学会合同セッション 特別講演

13:20~13:50 Future Perspectives of the Esodata Project

司 会 竹内 裕也（浜松医科大学外科学第二講座）
演 者 Donald E. Low（Virginia Mason Medical Center）

日本食道学会・日本消化管学会合同セッション シンポジウム1

14:00~15:00 食道癌治療における胸部大動脈ステントグラフトの意義と問題点

司 会 渡邊 雅之（公益財団法人がん研究会有明病院・消化器センター）
加藤 健（国立がん研究センター中央病院）

食道癌に対する TEVAR の薬事承認に向けて

公益財団法人がん研究会有明病院消化器センター 渡邊 雅之

食道癌大動脈浸潤に対する TEVAR の治療成績について—食道外科医の立場から

東京慈恵会医科大学外科学講座 松本 晶

大動脈浸潤食道癌に対する外科治療戦略—TEVAR+大動脈外膜切除および大動脈合併切除+人工血管グラフト置換—

大阪大学大学院外科学講座消化器外科学 牧野 知紀

大動脈浸潤食道癌に対する TEVAR の適応と留意点～大動脈食道瘻（AEF）治療の経験に基づく心臓血管外科の立場から

東北医科薬科大学医学部医学研究科心臓血管外科学 川本 俊輔

日本食道学会・日本消化管学会合同セッション シンポジウム2

15:10~16:50 食道運動障害の未来像：診断と治療のブレイクスルー

司 会 眞部 紀明（川崎医科大学検査診断学）

食道運動障害の疫学—近年の動向とシカゴ分類・高解像度食道内圧検査の影響—

川崎医科大学検査診断学 眞部 紀明

食道運動障害の診断基準：シカゴ分類（CCv4.0）の「その先」へ

国立国際医療研究センター病院消化器内科 秋山 純一

食道運動障害の最新治療戦略：テラーメイドアプローチ

福岡大学消化器外科 塩飽 洋生

特殊なタイプの食道運動障害への対応

(1) 全身疾患関連の食道運動障害のマネジメント

群馬大学大学院医学系研究科消化器・肝臓内科学 栗林 志行

(2) 食道胃接合部通過障害のマネージメントの最前線

九州大学大学院医学研究院病態制御内科学 伊原 栄吉